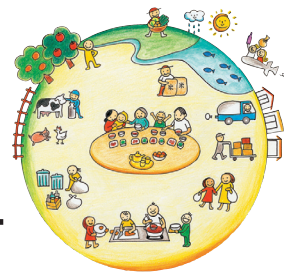


食にかかわる専門家をささえる

NPO法人 食生態学実践フォーラム



〒169-0075

東京都新宿区高田馬場 4-4-2 尾上ビル 404

TEL : 03-5925-3780 FAX : 03-5925-3852

2007.11.16 Vol.14

E-mail : forumehf@zak.att.ne.jp

http://home.att.ne.jp/omega/syokuseitai/

■名寄研修会

2007.7.16

名寄市文化センター

北海道で当フォーラム研修会を開催したいとの想いから、運営委員の石川みどり氏(名寄市立大学)が現地コーディネーターとなり、開催いたしました。

「3・1・2 弁当箱ダイエット法」のことを言葉では聞いているが、実際のところを知りたい、という熱心な行政や病院の栄養士さん達9人が集まりました。「自給率200%の北海道です。米も魚も肉も野菜も北海道だけでなく、日本中の人々に供給しています」と参加者から誇り高く言われました。

食糧が身近で豊富だからこそ、1食の食事の量と質が簡単にわかる「3・1・2 弁当箱ダイエット法」で地域がいきいきとした健全な「食」を実現してほしいと実感。「北海道産の米がおいしくなった」と会話をしているにもかかわらず、弁当箱に主食を詰めるときに「え～、こんなに詰めるの」と躊躇しながら詰めている光景もありました。(理事：薄金孝子)

■食育セミナー

2007.8.5～8.7

みなみかぜ地域交流センター

2年間の社会福祉法人健友会「みなみかぜ地域交流センター」における1日型プログラムを経て、本年度はかつて宮城県蔵王町で行ってきた宿泊型セミナーを実施することになりました。

テーマは「ハートを食事でプレゼン



ト!」。参加した11名の子どもたちが特別養護老人ホーム「みなみかぜ」に暮らしておられるお年寄りにいろいろ話を聞き、その方のための食事(お弁当)を構想し、実際に作り、プレゼントをし、一緒に食べました。子どもたちは朝・昼・夕の食事づくりを通して習得したありったけの知識とスキルを用いて、自分がプレゼントするお年寄りへのハートフルな思いをお弁当として表現したのです。その一連の様子には、胸が熱くなる場面が幾度となくありました。



本年度は、小中学生が要介護のお年寄りにあった食事を作るという、ハードルの高いプログラムへのチャレンジでしたが、「みなみかぜ」の介護職の方々との協働により、新たな一歩を踏み出すことができました。(理事：平本福子)

■食育プロモーターズ

2007.8.5～8.7

みなみかぜ地域交流センター

プロモーターズ認定講座として、「3・1・2 弁当箱法」を教材としたBコース基本編3単位、Cコース基本編1単位が取得できる講座として、「食育セミナー」との同時開催をしました。

子どもたちが「みなみかぜ」のお年寄りとふれあい、お年寄りに自分たちの気持ち(ハート)を食事で表現(プレゼント)するプログラムの参与観察と、参加者の一人ひとりの課題解決に向けた学習を行いました。そして、プロモーターズもお年寄りに「ハートを食事でプレゼント」。



嚥下力が弱くなったり、気持ちが不安定なお年寄りに、食べたいものや食べられるものを伺い、その方だけの「3・1・2 弁当箱法」の弁当をつくり、一緒に食べたり、食べさせて差し上げたりと得がたい体験ができました。(理事：薄金孝子)

●岡山研修会のお知らせ

「3・1・2 弁当箱法」の実践で、

「食事バランスガイド」の活用も食卓自給率もアップ!

2008年1月12日(土)

基調講演：針谷順子

コーディネータ：足立己幸

パネリスト：大田垣多一郎、本田真美、横山宏子
会場：就実大学

*詳細は同封のチラシをご覧ください。
(平成19年度につばき食育推進事業)

●名古屋研修会のお知らせ

2008年2月15日(金)開催予定

*詳細は後日、HP上でお知らせします。

●2008年度食育カレンダー販売中!

今年も食育カレンダーを制作いたしました。「食事バランスガイド」と「3・1・2 弁当箱法」でバランスと適量の食事を実現!

1部840円、
10部以上は
1部650円で
販売いたします。
HP、
FAX、メール
でお申し込み
ください。

